

2021年度（対象：2019～2020年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準1	理念・目的
-----	-------

総評	
<p>0101 教育組織の特色は明確に反映されている [0101a, 0101b, 0101c]。 0101 育成する人間像は明確 [0101b, 0101c] で、学部ホームページの更新時等に検証・再点検を図っている。 0101 教育研究上の目的と、大学の基本理念・使命・教育目的は、関連性があるものとなっていると判断できる。 0101 教育研究上の目的が「資格名」以外の文言がすべて同じで、教育の特色が読み取れない[0101d]。 0102 明示媒体との記述に齟齬はなく、社会に対して公表されている [0101a, 0101e]。 0102 学部・研究科の教育研究上の目的等が、構成員に周知され、web での広報を通じて社会に対して公表されている [0101b, 0101c, 0101e]。 以上、生命健康科学部および各学科の特性をよく踏まえた理念となっている一方、より学科の特性を明確化するために、一部の学科においては教育研究上の目的の改善が望まれる。</p>	
長所・特色	
<p>0101 生命健康科学部の理念と目的が、キャンパスガイド[0101b]などにわかりやすい言葉で明快に表現されているところが評価できる。 0102 web での広報活動を通じて、明示媒体との記述に齟齬のない形で、学部の教育研究上の目的等が社会に対して公表されている。</p>	
留意点	
<p>*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>	
<p>0101 「理学療法学科」「作業療法学科」の教育研究上の目的が「資格名」以外がすべて同じで、教育の特色が読み取れないため、早急ではないが認可等を踏まえて内容の検討が望まれる【B】。</p>	

根拠資料No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0101	f	地域連携・地域貢献	○
0101	g	改善報告書（学部）	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 2	内部質保証
------	-------

総評
<p>0203 作業療法学科と理学療法学科では 2018 年に外部評価を実践している [0203a] が、残りの学科では経費の折り合いがつかず、外部評価は実現できていないとされ自己評価(評定)「B」としている [0203b]。 2 学科が受審している教育評価機構によるような「第三者評価」によらずとも、本学の全学的課題や個別課題、ピアレビューによる意見、自己点検・評価結果に対する改善の取り組みについて基本的な仕組みは機能しており評価され、評価「A」に相当すると判断される。</p>
長所・特色
<p>0203 「作業療法学科」「理学療法学科」は 2018 年にリハビリテーション教育評価機構による外部評価を受審しており、この点は高く評価される [0203a]。</p>
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>
<p>特になし。</p>

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 4	教育課程・学習成果 (1)
------	---------------

総評	
<p>0401 コ・メディカル専門職者を養成するための当該学位にふさわしい DP を適切に定め、ホームページおよび学生便覧において公表されている [0401a]。</p> <p>0402 医療資格に直結すべき教育内容は厚生労働省・指定規則により規定されている中で、DP に沿って CP を適切に定め公表が行われている [0402b]。CP に基づいて各学位にふさわしい授業科目を開設して教育課程を体系的に編成し、カリキュラムマップにより教育系統上の各科目の位置づけが明示されており、学生が科目の履修をし易い環境の提供と公表が行われている [0403a] [0403b]。</p> <p>0403 教育課程のチェックのための体制として学部教務委員会が整備され、機能している [0403c]。 以上のことから、DP および CP の適切な公表が行われているとともに、CP に基づき教育課程のチェック体制を作って実践されていると判断できる。</p>	
長所・特色	
0403 教育課程のチェックのための体制として学部教務委員会が整備され、機能している [0403c]。	
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入	【A】 ・・・緊急の改善を要する事項 【B】 ・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 4	教育課程・学習成果 (2)
------	---------------

総評	
<p>0404 学習の活性化と効果的な教育のための措置が適切に講じられている[0404a][0404b]。</p> <p>0404 多くの科目の授業内容が学校養成所・学校養成施設指定規則により厳格に規定されているが、指定規則の許す範囲で「魅力ある授業の展開」や「アクティブラーニング」等の取り組みを行い、学習効果を上げている[0404b][0404c]。</p> <p>0404 認証評価で応用生物学部に指摘のあった履修単位数の上限については、当該学部においても 50 単位を超える履修が可能になっており、実際にはそうした履修者はいなかったが学科会議等で検証を行い、今後改善していくことをヒアリング時に確認した。</p> <p>0405 成績評価、単位認定および学位授与について、明確な基準に従い適切に行われている[0404b]。教授会で学位授与について審議を行うことが教授会規程内で明記されており、客観性と厳格性を確保するとともに責任体制を明確にしている[0405a]。</p> <p>0405 卒業論文を課しているが、合格基準は各研究指導教員に委ねており、一部の学科を除いて明確な基準は決められていない[0404a]。</p> <p>以上のことから、学習の活性化と様々に講じた措置は成果を上げ、成績評価・単位認定についても基準に従って実施されていると判断できる。なお、卒業論文については、合格基準は各研究指導教員に委ねており、全学的課題 2019: 基準 4 にある評価項目と達成度レベル等の基準作成が望まれる。</p>	
長所・特色	
<p>0404 指定規則の許す範囲で「魅力ある授業の展開」や「アクティブラーニング」等の取り組みを行い、学習効果を上げている[0404b][0404c]。</p>	
留意点	
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="text-align: right;">【B】・・・検討を要する事項</p>	
<p>0405 卒業論文については、専門の違いを鑑み、学科としての評価項目と達成度レベル等の基準の作成が望まれる【A】。</p>	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 4	教育課程・学習成果 (3)
------	---------------

総評	
<p>0406 GPA 制度を活用して学生個々の学習成果を確認している [0406a] [0406b]。 0406 成績分布等については「教育・研究活動に関する実態資料」に記載されているが、各学科教員が活用しきれていない [0406c] 0406 進級などの実績については各学科で把握しているが学部全体としては把握しきれていない [0406c]。 0406 国家資格との関係で文部科学省/厚生労働省の指定規則により教育内容が厳格に指定されているため、学習成果は講義科目では主に筆記試験で評価している [0406d]。一部実習科目でルーブリック評価を活用し、ルーブリック評価の実践に向けて FD 活動を通じて学部全体で取り組んでいる [0406d]。 0407 GPA や単位未修得科目を学生ごとに毎期確認し、個々の指導や授業内容の改善に活かしている [0406b]。教育内容が文部科学省/厚生労働省の指定規則により規定されているため、学部として独自の重点目標の設定や学部として統一基準による学習成果評定は行いにくい、学科単位で改善・向上にむけた活動や教員支援を実施している [0407a]。 以上のことから、成績情報の活用、学部としての学習成果の情報の共有および組織的な評価については改善すべき点が多いと考えられる。</p>	
長所・特色	
<p>0406 GPA 制度を活用して学生個々の学習成果を確認している [0406a] [0406b]。 0406 一部実習科目でルーブリック評価を活用し、ルーブリック評価の実践に向けて FD 活動を通じて学部全体で取り組んでいる [0406d]。</p>	
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入	【A】 ・・・緊急の改善を要する事項 【B】 ・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0406	e	2019 年度、2020 年度主任会議事録_ピアレビュー後の追加	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

総評	
<p>0602 適正な教員数を確保し、配置している [0602a, 0602b]。女性教員比率は高い水準を保っているが、年齢構成は学科による偏りがある [0602c]。教養教育の運営体制は整備されている [0602d]。</p> <p>0603 採用人事については全学的な方針に従い [0603a]、昇格人事は各学科の厳格な昇格基準に従い、実施している。 [0603b]。</p> <p>0604 年度初めに FD 活動推進目標を設定し、年 2 回学部の FD 研修委員会を開催し、授業内容・評価方法の向上を図っている [0604a, 0604b]。自己点検・評価シートの「2019 年度、2020 年度とも、・・・卒業研究のルーブリック評価についての講演と演習を行った」記述は、2019 年度のみであったことをヒアリング時に訂正、確認した。</p> <p>0605 年 1 回教員の自己点検・評価を実施しているが、教員間での教育研究の活動量に差があり、活性化が必要である [0605a]。</p> <p>教員の年齢構成は学科によっては偏りがあるものの、教員組織の編制については方針に基づき実施されている。また、教員の採用・昇格についても各学科の厳格な昇格基準に従って適切に行われ、FD 活動についても、毎年、学部主催のイベントを実施して向上につながっていると判断される。一方、個々の教員の自己点検・評価は毎年実施しているが、教員組織の適切性については実施されていなく、学部・学科における教員組織の適切性については、定期的に検討されたい。さらに、教員の研究活動については自ら活性化が必要と評価されており、年度目標等を設定した具体的な取り組みが望まれる。</p>	
長所・特色	
<p>0602 適正な教員数を配置し、女性教員の比率を高い水準で保っている [0602c]。</p> <p>0604 年 2 回学部主体で FD 研究会を開催し、授業内容・評価方法の向上を図っている [0604a] [0604b] [0604c]。</p>	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	<p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>
0605 一部の教員については、教育研究の活性化がなされておらず、年度目標等を設定した具体的な取り組みが望まれる【B】。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0603	c	2020 人事に関する手続き	○
0604	c	2019 年第 2 回 FD 研修会 2020-2-24	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 7	学生支援
------	------

総評	
0702	学生の学修に関して成績不振などの問題点を検証し、その対応策を検討し、成果を点検している [0702a, 0702b]。
0702	学生の生活に関して、学生に対してはプライバシーに配慮しつつ慎重に対応しており、教員に対しては意識向上を促した。ただし、ハラスメント研修会が 2018 年以降実施されておらず、学部内のハラスメント防止啓発活動は継続して行われていない。学部独自の学内事故報告書による情報共有、問題検証の体制が構築できており、評価できる [0702e]。
0702	キャリア支援状況について学科単位で定期的に情報共有してる [0702b]。
0702	報酬型インターンシップを毎年実施しているが、2020 年度は COVID-19 のため低調であった [0702f]。ヒアリング時に、報酬型インターンシップ以外ができず「B」の自己評価の説明を受けたが、「A」評価に相当とすると判断した。リスク予防管理士養成制度が未だ十分活用されていない。
0702	指導教授制度により学生支援を適切に実施している。 以上のことに加えて、資格取得のための学生支援が、各学科で実施されていることをヒアリング時に確認し、学生支援が適切に行われていると判断する。次回の自己点検・評価においては、そうした学部特有の支援の記述やその成果についても説明が求められるところである。
長所・特色	
0702	主任会において、毎月各学科の学生異動情報および就職状況の共有を行い、きめ細やかな支援を行っていることが評価できる [0702b]。
0702	学生の生活支援について、教員の意識向上に努めている。
0702	学部独自の学内事故報告書による情報共有、問題検証の体制が構築できている点が評価できる [0702e]。
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0702	ハラスメント研修会が 2018 年度以降開催されておらず、ハラスメント防止対策は大学の指針共有に留めてい ることから、今後の継続的な啓発活動が課題である【B】。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
<p>0802 学校養成所・学校養成施設指定規則の省令改正を受けて、学部の設備・備品について新指定規則に準拠した整備・更新が望まれるとともに、新規則に基づく対応の検証が必要である[0802a]。</p> <p>0806 現有機器や必要機器の自己点検・評価を行ない、新規購入機器と更新機器について重点計画表を大学当局に提出している[0806a]。</p> <p>0806 教育研究環境の改善に向けた取り組みが計画的・積極的に行われている[0806a]。 医療系の指定規則の見直しによる設備の不足等の整備・更新について検討を予定しており、教育方法に応じた対応をはかっている。また、定期的な機器の点検と更新等による改善向上をはかっている。</p>	
長所・特色	
特になし。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】 ・・・緊急の改善を要する事項 【B】 ・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0802	b	2019-2020 重点事業計画 (生命健康科学部)	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 9	社会連携・社会貢献
------	-----------

総評	
<p>0902 教員が保健医療専門職あるいは保健医療関係機関とのつながりが強い場合が多く、かつ、個々の研究内容が社会と連結しているため、教員自身が社会貢献についての十分な自覚を持ち実践している [0902a]。</p> <p>0902 COC 事業を含め教員と学生が積極的に地域交流に関わっている [0902b] [0902c]。国際交流事業については個々の教員の努力によっている。</p> <p>0902 個々の教員の専門分野における講演会、研修会などを通じ活発な社会貢献活動が行われていることが読み取れる。また、地域住民に向けた研修会などを積極的に開催し、教育研究結果を適切に社会に還元しているといえる [0902a]。</p> <p>0902 社会貢献および地域交流が COC 事業等を通じて活発に行われている [0902b]。シンポジウムやセミナーなどの研究成果公開を通じた地域交流にも積極的に取り組まれている [0902c]。</p> <p>地域に向けた連携・貢献は様々な形で実施されている一方で、国際交流については教員個人レベルに終わっているところもあり、組織的な取り組みが今後期待される。</p>	
長所・特色	
<p>0902 COC 事業を含め教員と学生が積極的に地域交流に関わっている [0902b] [0902c]。</p> <p>0902 COC 事業報告書より、学生および教員が一丸となって多岐にわたる地域交流活動が実施されていることが読み取れ、非常に評価できる [0902b]。</p>	
留意点	
<p>* 各項に留意点レベルを記入</p> <p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>	
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2021年度(対象:2019~2020年度)ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学部
--------	---------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評
<p>1120 各種委員会の開催、および議事録作成に関する手続きは適切に行われている [1120a] [1120b] [1120c]。 1120 主任会と教授会を定期的に開催し、教授会は90%以上の出席率を確保している。主任会と教授会の議事録は学部長(議長)の決裁を経て、本部に提出している [1120a, 1120b]。 1120 学部教務委員会を2018年度に立ち上げ、活動を継続している [1120c]。 1120 教授会への高い出席率という個々の教員の努力や学部教務委員会の開催によって、情報の共有化が図られている。 [1120b] [1120c] 学部全体の教務関係課題の審議や資格の指定規則の改定による情報交換などを審議する学部教務委員会を新たに設置して業務内容の改善をはかっている。なお、学部教務委員会が定例ではないため、内規や申し合わせがないため、早急に作成が求められる。</p>
長所・特色
<p>1120 学部教務委員会を2018年度に立ち上げ、それ以降継続的に活動している [1120c]。</p>
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p> <p>1120 学部教務委員会の開催に関する内規等の整備が求められる【A】。</p>

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管